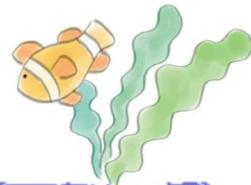




きらら としょかん



新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 257

R5. 7月号



新屋図書館の夏が来た！！

7月の新屋図書館は夏モード！

皆様に楽しんでいただけるような企画をご用意しました。

清水神社の七不思議

日時：7月29日(土)

午後6:00~7:00

場所：新屋図書館 全館

参加費：無料

申込み：不要

内容：(これは謎解きイベントです)

神社の夏祭りに来ていたあなたは

ひよんなことから

神社に用じ込められてしまいます。

脱出のため、

神社に伝わる七不思議を

解き明かしましょう。

備考：当日は午後5時で図書館は

一産閉館となります。

夏祭りに参加される方は

午後6時から改めてお入りください。

夏のブックフェア

「夏休みをおうえん！」

期間：7月19日(水)~8月27日(日) 場所：本館中央 特設コーナー

夏休みの調べ学習、自由研究に役立つ本や、

年齢問わず知る欲求、学ぶ好奇心をくすぐる本の展示・貸し出しを行います。

こども映画鑑賞会

「フレンドリー・バニー マイロ」

会場：研修室

参加費：無料

申込み：不要

日時：7月22日(土)

上映時間：①10:30~11:10

②13:30~14:10

③15:00~15:40

直接会場へお越しください。

室内には椅子を15席をご用意しています。

7月のおはなし会

7月1日(土) 14:00~14:30

たなぼた

~絵本・七夕飾りの紹介~

(おはなしのへや・幼児~小学生)



7月11日(火) 10:30~10:50

おいしいね

~えほん・かみしばい~

(おはなしのへや・赤ちゃん~)



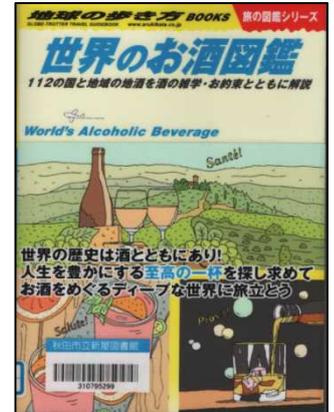
新刊案内

世界のお酒図鑑 112の国と地域の地酒を酒の雑学・お約束とともに解説

地球の歩き方編集室／著作編集

Gakken 請求記号 588.5 (酒類)

世界中で飲まれ、歴史にも度々登場する酒。この本では、各国の酒の紹介だけでなく、酒に合う肴、酒にまつわる雑学をコンパクトにまとめて紹介しています。福沢諭吉など各国の酒豪列伝のコーナーも興味を惹かれます。酒好きにも歴史好きにも楽しめる内容です。



迷わず解決！ やさい病害虫ハンドブック

根本 久／著

NHK出版 請求記号 626.18 (園芸)

葉っぱの変色やカビの発生など、野菜を育てていると気になる病害虫の被害。この本では、野菜ごとに発生しやすい病害虫を写真で分かりやすく紹介しています。病気や害虫ごとに特徴や、対処法・予防法なども載っているので、大事な野菜を守る手助けをしてくれる1冊です。

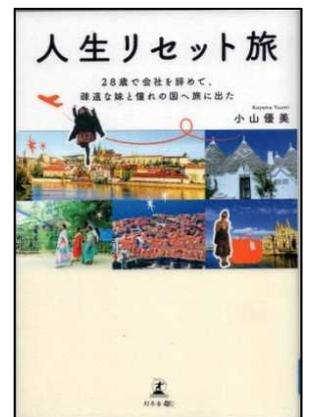


人生リセット旅 28歳で会社を辞めて、疎遠な妹と憧れの国へ旅に出た

小山 優美／著

幻冬舎 請求記号 290.9 (旅行記)

「興味があることに目一杯時間を使いたい！」という衝動のまま7年勤めた会社を退職し、いざ9か国の旅へ！城壁の遊歩道で2時間半ボーっとする贅沢な時間。そして異国の地で待ち受ける数々のハプニングについクスッと笑ってしまう場面も。日常から解放されたい人必見です。



イチからつくる コーラ イチは、いのちのはじまり

コーラ 小林／編 中島 陽子／絵

農文協 請求記号 58 (飲料) ※小学5・6年生ころから

サッカーの練習帰り、どんな炭酸飲料が好きかで盛り上がるタクヤたち。前に飲んだクラフトコーラの話になり、そもそもコーラって何？なぜ黒い？手作り出来るの？など、疑問が湧き上がります。意外と知られていないコーラの歴史や手作りレシピなど、コーラの奥深さが詰まった1冊。



図書館員（佐々木 禎子）のおすすめ本

書名 大切な人へ贈る
手紙にそえる季節の言葉365日

著者名 山下 景子／著
出版社 朝日新聞出版
所蔵 新屋、明德、イソップ
請求記号 816 (文章)



あつという間に1年の前半が終わり、文房具店などでは、夏らしいポストカードを見かけるようになりました。暑中見舞いとして送りたいけれど、気の利いた文章が思い浮かばないな…と筆が止まってしまった経験はありませんか？そんな時におすすめしたいのがこの本です。本を開くと、その日にぴったりの言葉と文例が365日分も紹介されています。

例えば7月2日は「半夏生（はんげしょう）」。1年のほぼ真ん中にあたります。他にも「細流（せせらぎ）」や「青田波（あおたなみ）」など涼しげなフレーズもあり、言葉で季節を感じることができます。さあこの夏は、しばらく連絡を取っていない友人やお世話になった方に、手紙を送ってみませんか？あなたの大切なあの人が、夏の暑さに負けず元気で過ごせますように！

図書館員（石井 さやか）のおすすめ本

書名 電車の窓に映った自分が死んだ父に見えた日、スキンケアはじめました。

著者名 伊藤 聡／著
出版社 平凡社
所蔵 明德
請求記号 595.5 (美容)



ステイホーム期間の不摂生により、くたびれた容姿に変貌。どうにかしなければ…と思った著者が、美容沼にはまっていくお話です。

まず向かったのはドラッグストア。何か自分が変わるきっかけがあるはず！と思ったのですが、今まで肌のお手入れはほとんどしてこなかったの、何が何だかわからない。そもそもどのアイテムをどの順番で使う？金額の違いは

何？自分は敏感肌？そして何より、スキンケア売り場にいる自分が恥ずかしい…。

アイテムの多さや専門用語に苦労しながらも、肌の変化に感動し、どんどん美容に夢中になっていく姿は、みていて楽しいです。写真を使わず、文章だけで化粧品メーカーや美容雑誌を比較するパートは、読み応えがありました。自分を労る時間をもちたくなる1冊です。

記事になったお酒の話題あれこれ…酒と文学…

新屋図書館では、醸造に関する資料を集めており、その一環としてお酒をめぐるカルチャーマガジン「月刊たる」を購読しています。

2023年5月号では、「池波正太郎 生誕100年」と題して、時代小説の名手・池波正太郎の酒に関するエピソードや、作品の中の酒にまつわる舞台地の紹介、池波が通った名店の紹介など、大きく紙幅を割いて特集されています。

ほかにも、2022年11月号「昭和の女流作家 酒で綴る人生史」、2022年5月号「明治の文豪 酒で綴る人生史」など、過去にもお酒と文学について特集された号がありますので、ご興味のある方はカウンターでお気軽にお尋ねください。バックナンバーをお持ちいたします。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

月刊たる
2022年5月号
2022年11月号
2023年5月号

今、あなたへ…ゾッとする本…

夏の風物詩ともいえる怖い話。この夏は本で色々な恐怖体験をしてみませんか？

『実話怪談 出沒地帯』（川奈 まり子／著、河出書房新社）は身近に潜む心霊的恐怖を題材とした短篇集。公園、タクシー、学校…。実はあなたも体験しているかも？

『もうどく水族館』（サンシャイン水族館／著、KADOKAWA）には毒を持つ多種多様な生物が紹介されています。それぞれの毒のレベルも記載され、中には死亡する恐れも…。遭遇はしたくないけれど、実は面白い生物たちの世界を覗いてみましょう。

見開きで同じ絵が合わせ鏡のように描かれている『EDNE』（junaida／著、白泉社）。でもよく見ると1部違う箇所が…。読み手への問いかけも相まって言いようのない不安が襲ってくる一冊です。



図書館員のひとりごと

一里塚を知っていますか。江戸の日本橋を起点に一里（約4km）毎に街道沿いに設置された塚で、昔の旅人には、距離の確認や目印、休息等に利用されていたものです。実際、私が旧街道を歩いた時も、各一里塚跡の通過時間から歩くペースを調整するなど、街道歩きには非常に重要なチェックポイントでした。

一里塚跡は、古地図等からおおよその位置が分かっており、石碑が立っているところや、現存し史跡になっているところもあります。

車で国道を走っていると、突然道路脇に出現することがあります。皆さんもぜひ探してみてください。
(清水)

- 週1のヨガ→その後駅前で友人とランチ
- 天気の良い日は日光浴でビタミンD摂取
- 気が向いたらラジオ体操
- 外に出るときの日焼け止めはマスト
- しっかりスキンケアで洗面所を独占
- アイクリームでたるみ防止
- 全身保湿でかかともつるつる
- 自分で髪を染め、気になる部分はカット
- ドラマで若手俳優を覚える
- 流行は朝の情報番組で入手
- 占いコーナーはかかさずチェック

私の祖母（80）はとても若いです。

いつまでも元気でいてね。
(石井さ)